

大阪北部で震度6弱



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2018年

号外

購読申し込み
0120-13-1231
電子版
www.sakigake.jp

モバイル
m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報電子版」「さきがけMOBILE」をご覧ください。

3人死亡、交通網まひ

18日午前7時58分ごろ、大阪市北区、大阪府高槻市、枚方市、茨木市、箕面市で震度6弱の地震があった。気象庁による

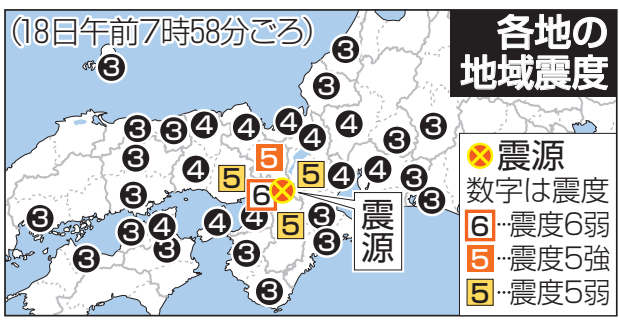
と、震源地は大阪府北部で、震源の深さは約13キロ。地震の規模はマグニチュード(M)6・1と推定される。その後も地震が

相次いだ。大阪府で震度6弱を観測したのは観測態勢が整った1923年1月以降、初めて。大阪府災害対策本部や警察などによると、高槻市立寿栄小で女兒(9)が

プールの壁に挟まれ死亡。地震で壁が倒れたとみられる。大阪市東淀川区では80代男性が壁の倒壊に巻き込まれ死亡した。茨木市の住宅では80代男性が本棚の下敷きになり、病院に搬送されたが間もなく死亡した。



はがれ落ちた雑居ビルの外壁＝18日午前10時56分、大阪府茨木市



東海道、山陽新幹線は一部区間の上下線、関西の鉄道各社は全線で運転を見合わせるなど交通網がまひした。駅には通勤通学客があふれた。関西電力によると、大阪府と兵庫県の計17万戸余りで停電が発生。大阪府や京都市、奈良県でエレベーターに閉じ込められる人が相次いだ。